

VII 授業概要 (シラバス) 山陰中央専門大学 介護福祉士学科

教育科目	人間の尊厳と自立 (講義)	教育内容	人間の尊厳と自立 (講義)
学 科	[介護福祉士]	開講期	(前期)・後期
開講学年	学科 1年	授業コマ数	15 コマ
		単 位	2 単位
授業目標	人間の理解を基礎に、個人の尊厳と基本的な人権についての基礎知識を身につけるよう学習する。また自立・自律した生活を支える必要性について理解し、介護場面における倫理的課題について対応できるための基礎となる能力を養うよう学習する。		
授業概要	人間の尊厳では人の個性性を尊重することを理解する。自己選択・自己決定ができ自己実現に向けての自立支援が出来るよう学ぶ。		
成績評価基準	定期テスト (前期) 後期	その他 (レポートなど) 前期 回、後期 回	
	小テスト 前期 3回、後期 回		
	評定方法 小テスト、定期テスト		
使用テキスト等	「人間の理解」メヂカルフレンド社		

教育科目	人間関係とコミュニケーション (演習)	教育内容	人間関係とコミュニケーション(演習)
学 科	[介護福祉士]	開講期	(前期)・後期
開講学年	学科 1年	授業コマ数	15 コマ
		単 位	1 単位
授業目標	介護実践のために必要な人間の理解や、他者への情報の伝達に必要な、基礎的なコミュニケーション能力を養う。		
授業概要	・人間関係の理解を基礎に、コミュニケーションの機能を理解するように支援する。 ・介護福祉士として、援助関係形成のためのコミュニケーションの基礎的知識を備えるようにする。		
成績評価基準	定期テスト (前期) 後期	その他 (レポートなど) 前期 回、後期 回	
	小テスト 前期 3回、後期 回		
	評定方法 小テスト、定期テスト		
使用テキスト等	「人間の理解」メヂカルフレンド社		

教育科目	社会の理解 (講義)	教育内容	社会の理解 (講義)
学 科	[介護福祉士]	開講期	(前期)・後期
開講学年	学科 1年	授業コマ数	30 コマ
		単 位	4 単位
授業目標	人の生活を個人、家族、近隣、地域、社会の単位で捉え、我が国の人々の生活を支える社会のしくみを知り、生活と社会の関わりや、自助から公助に至る過程について理解するための学習とする。		
授業概要	個人が自立した生活を営む上で、家族や地域社会とどのような関わりがあるのかを学び、また、社会保障制度の役割や意義、発展の歴史を学ぶことで、介護サービス利用者の権利や生活を支える制度の仕組みや運用について理解する。		
成績評価基準	定期テスト 前期 (後期)	その他 (レポートなど) 前期 回、後期 回	
	小テスト 前期 1回、後期 2回		
	評定方法 小テスト、定期テスト		
使用テキスト等	「社会の理解」メヂカルフレンド社		

教育科目	ビジネススキル I (講義)	教育内容	ビジネス能力講義
学 科	[介護福祉士]	開講期	(前期)・後期
開講学年	学科 1年	授業コマ数	16 コマ
		単 位	2 単位
授業目標	ビジネス能力を習得し、介護実践の基盤となる教養、総合的な判断力及び豊かな人間性を涵養する。		
授業概要	ビジネスとコミュニケーションの基本及び仕事の実践について学ぶ。実際に介護現場で行う基本的なビジネス能力を養う。		
成績評価基準	定期テスト (前期) 後期	その他 (レポートなど) 前期 回、後期 回	
	小テスト 前期 3回、後期 回		
	評定方法 小テスト、定期テスト		
使用テキスト等	『ビジネス能力検定 3 級公式テキスト』 日本能率協会マネジメントセンター 『ビジネス能力検定 3 級公式試験問題集』 日本能率協会マネジメントセンター		

教育科目	介護福祉論 I (講義)	教育内容	介護福祉論 (講義)
学 科	[介護福祉士]	開講期	(前期)・後期
開講学年	学科 1年	授業コマ数	45 コマ
		単 位	6 単位
授業目標	介護を取り巻く社会状況の把握と介護福祉士誕生の背景、社会的役割を理解するとともに介護・福祉サービスを利用する方への理解を深め、自立支援のあり方について学習する。		
授業概要	介護の歴史・概念を理解し、生活支援としての介護について理解する。自立に向けた支援を行うための視点について理解し、介護の専門性、専門職に求められるものが何か学ぶ。個別ケアの重要性、利用者の QOL を高める視点を学び、利用者が納得した自己選択・自己決定を支えることを理解する。		
成績評価基準	定期テスト 前期 (後期)	その他 (レポートなど) 前期 回、後期 回	
	小テスト 前期 2回、後期 3回		
	評定方法 小テスト、定期テスト		
使用テキスト等	『介護の基本 I』中央法規出版		

教育科目	介護コミュニケーション技術 I (演習)	教育内容	介護コミュニケーション技術 I (演習)
学 科	[介護福祉士]	開講期	(前期)・後期
開講学年	学科 1年	授業コマ数	15 コマ
		単 位	1 単位
授業目標	介護の現場では、介護を必要とする人との人間関係やその家族との人間関係、職員同士のチームとしての人間関係など、人と人との関係の中で成り立っている。コミュニケーションの基礎や方法を習得し、コミュニケーション能力を身に付ける。		
授業概要	介護におけるコミュニケーションの基本について、演習を通して理解する。		
成績評価基準	定期テスト (前期) 後期	その他 (レポートなど) 前期 回、後期 回	
	小テスト 前期 3回、後期 回		
	評定方法 小テスト、定期テスト		
使用テキスト等	『コミュニケーション技術』中央法規		

教育科目	生活支援技術 I 生活支援(演習)	教育内容	生活支援技術 I 生活支援(演習)
学 科	[介護福祉士]	開講期	(前期)・後期
開講学年	学科 1年	授業コマ数	30 コマ
		単 位	3 単位
授業目標	自立に向けた家事の介護を学ぶ。家事の介助に関する知識、技術を学び、利用者の個性に対応できる能力を習得する。		
授業概要	家事介助を必要とする人の生活を重視し、個性性を尊重した援助を行うために、さまざまな家事介助の技法を、演習を通じて習得する。		
成績評価基準	定期テスト 前期 (後期)	その他 (レポートなど) 前期 回、後期 回	
	小テスト 前期 2回、後期 2回		
	評定方法 小テスト、定期テスト		
使用テキスト等	『生活支援技術 I』中央法規		

教育科目	生活支援技術 III 基礎介護技術(演習)	教育内容	生活支援技術 III 基礎介護技術(演習)
学 科	[介護福祉士]	開講期	(前期)・後期
開講学年	学科 1年	授業コマ数	50 コマ
		単 位	5 単位
授業目標	生活支援に関する基礎的な知識や技術を習得し、利用者の心身状態のレベルを理解し、自立に向けた援助とその根拠を明確にしながら学習することを目的とする。		
授業概要	さまざまな生活支援の援助方法の基礎知識や技術を学び、利用者の心身状況に応じた援助方法を根拠をもとに行うことができる力を身につける。		
成績評価基準	定期テスト 前期 (後期)	その他 (レポートなど) 前期 2回、後期 2回	
	小テスト 前期 2回、後期 2回		
	評定方法 実技試験、定期テスト		
使用テキスト等	『生活支援技術 II』中央法規		

教育科目	介護過程論 (講義)			教育内容	介護過程論 (講義)			
学 科 開講学年	[介護福祉士] 学科 1年	開講期	前期・(後期)	授業コマ数	15 コマ	単位	2 単位	
授業目標	(1) 他の科目で学習した知識や技術を統合して介護過程を展開し、介護計画を立案し、適切な介護サービスの提供ができる能力を養う。							
授業概要	専門的知識・技術を根拠とした、客観的で科学的な思考過程による介護過程の展開を理解する。介護過程の展開に基づいた生活支援が「尊厳を守るケア」「個別ケア」を実現することを理解する。							
成績評価基準	定期テスト 前期 (後期)			その他 (レポートなど) 前期 回、中期 回、後期 回				
	小テスト 前期 回、後期 3回							
	評定方法 小テスト、定期テスト							
使用テキスト等	『介護過程』中央法規出版							

教育科目	介護過程演習 I (演習)			教育内容	介護過程演習 I (演習)			
学 科 開講学年	[介護福祉士] 学科 1年	開講期	(前期)・(後期)	授業コマ数	30 コマ	単位	3 単位	
授業目標	介護過程の学習を基礎とし、実際の生活場面での利用者の状況に応じた適切な介護の提供が出来るよう、他の授業で学んだ知識・技術を統合し、介護過程を展開、介護計画の作成ができることを目的とする							
授業概要	さまざまな利用者の障害や心身の状況に応じた事例を用い、利用者の支援における介護の実践的展開を理解するために、介護過程を学ぶ。							
成績評価基準	定期テスト 前期 (後期)			その他 (レポートなど) 前期 回、中期 回、後期 回				
	小テスト 前期 2回、後期 2回							
	評定方法 小テスト、定期テスト							
使用テキスト等	『介護過程』中央法規							

教育科目	介護総合演習 I (演習)			教育内容	介護総合演習 I (演習)			
学 科 開講学年	[介護福祉士] 学科 1年	開講期	(前期)・(後期)	授業コマ数	40 コマ	単位	2 単位	
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ I-1: 実習を通して利用者の理解、介護業務全般を理解することが出来るよう、実習に必要な知識・技術、実習生としての態度・姿勢を身につけることを目的とする。 ・ I-2: I-1で学んだ利用者の生活理解を深め、介護実習IIに必要な知識と技術、介護過程の展開の能力等について、個別の学習到達状況に応じた総合的な学習とする。 							
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ I-1 実習の意義・目的を理解し、各自の実習目標・意識の明確化を図る。 ・ I-II 課題の改善に向けた取り組みと、介護福祉士に必要な知識・技術の向上を目指す。 							
成績評価基準	定期テスト 前期 (後期)			その他 (レポートなど) 前期 2回、後期 2回				
	小テスト 前期 2回、後期 2回							
	評定方法 実習簿、課題、小テスト、定期テスト							
使用テキスト等	『介護総合演習・介護実習』中央法規							

教育科目	介護実習 I (38日)			教育内容	介護実習 I (38日)			
学 科 開講学年	[介護福祉士] 学科 1年	開講期	(前期)・(後期)	授業コマ数	152 コマ	単位	7 単位	
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ I-1: 実習を通して利用者の理解、介護業務全般を理解することが出来るよう、実習に必要な知識・技術、実習生としての態度・姿勢を身につけることを目的とする。また、実習前に介護技術の確認を行う。 ・ I-2: I-1における介護場面の見学・体験、コミュニケーション等を通して学んだ利用者の生活理解を深め、介護実習IIに必要な知識と技術、介護過程の展開の能力等について、個別の学習到達状況に応じた総合的な学習とする。専門職として必要な価値・倫理を学ぶ。 							
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ I-1①実習の意義・目的を把握するとともに、各自の実習目標・意識の明確化を図る。 ②実習内容の意義・目的を把握し、日誌の書き方及び聞き方のポイントを習得する。 ・ I-2において明確化した課題の改善に向けた取り組みと、介護福祉士に必要な知識・技術の向上を目指す。 							
成績評価基準	定期テスト 前期、後期			その他 (レポートなど) 前期 回、後期 回				
	小テスト 前期 回、後期 回							
	評定方法 各実習先指導者評価・巡回教員評価							
使用テキスト等								

教育科目	認知症の理解 I (講義)			教育内容	認知症の理解 I (講義)			
学 科 開講学年	[介護福祉士] 学科 1年	開講期	(前期)・(後期)	授業コマ数	15 コマ	単位	2 単位	
授業目標	認知症に関する基礎知識を習得するとともに、認知症のある人の体験や意思表示が困難な特性を理解し、本人のみならず、家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得する。							
授業概要	認知症について講義野視覚教材により理解し、認知症高齢者の生活を支援するために必要なサポート体制について、家族や専門職の役割を学び支援の理解を深める。							
成績評価基準	定期テスト (前期) 後期			その他 (レポートなど) 前期 回、後期 回				
	小テスト 前期 3回、後期 回							
	評定方法 小テスト、定期テスト							
使用テキスト等	『認知症の理解と介護』メヂカルフレンド社							

教育科目	障害の理解 I (講義)			教育内容	障害の理解 (講義)			
学 科 開講学年	[介護福祉士] 学科 1年	開講期	(前期)・(後期)	授業コマ数	15 コマ	単位	2 単位	
授業目標	障害のある人の心理や身体機能に関する基礎知識を習得するとともに、障害のある人の体験を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得する学習とする。							
授業概要	肢体不自由のある人や内部障害・視覚障害・聴覚障害のある人の身体的・心理的影響について理解し、アセスメントの視野を学習する。							
成績評価基準	定期テスト 前期 (後期)			その他 (レポートなど) 前期 回、後期 回				
	小テスト 前期 2回、後期 1回							
	評定方法 小テスト、定期テスト							
使用テキスト等	『障害の理解』メヂカルフレンド社							

教育科目	こころからだのしくみ I (講義)			教育内容	こころからだのしくみ I (講義)			
学 科 開講学年	[介護福祉士] 学科 1年	開講期	(前期)・(後期)	授業コマ数	15 コマ	単位	2 単位	
授業目標	介護技術の根拠となる人体が解剖学上、どのように構成されているかについて理解する。また、人体を構成する各器官の名称を把握し、各器官の構造とその働きについて理解する。そして、介護サービスの提供における安全への留意点や心理的側面への配慮について理解する。							
授業概要	介護には保健・医療・福祉サービスを総合的・一体的に提供することが求められているため、医学一般の知識を習得する。							
成績評価基準	定期テスト (前期) 後期			その他 (レポートなど) 前期 回、後期 回				
	小テスト 前期 3回、後期 回							
	評定方法 小テスト、定期テスト							
使用テキスト等	『こころからだのしくみ』メヂカルフレンド社							

教育科目	こころからだのしくみ II (講義)			教育内容	こころからだのしくみ II (講義)			
学 科 開講学年	[介護福祉士] 学科 1年	開講期	(前期)・(後期)	授業コマ数	15 コマ	単位	2 単位	
授業目標	介護技術の根拠となる人体の構造や機能及び介護サービスの提供における安全への留意点や心理的側面への配慮について理解する学習とする。							
授業概要	身体各部の名称および各基礎知識を学び、こころからだに対して理解し、実際の介護に役立てる。							
成績評価基準	定期テスト 前期 (後期)			その他 (レポートなど) 前期 回、中期 回、後期 回				
	小テスト 前期 2回、後期 1回							
	評定方法 小テスト、定期テスト							
使用テキスト等	『こころからだのしくみ』メヂカルフレンド社							

教育科目	ところからだのしくみⅢ（講義）	教育内容	ところからだのしくみⅢ（講義）
学 科 開講学年	[介護福祉士] 学科 1年	開講期	前期・(後期)
		授業コマ数	15 コマ
		単位	2 単位
授業目標	介護技術の根拠となる人体の構造や機能及び介護サービスの提供における安全への留意点や心理的側面への配慮について理解する学習とする。		
授業概要	障害や加齢により生活に支障が生じた部分に働きかける、安全・安楽に支援できる方法を習得する。		
成績評価基準	定期テスト 前期 (後期) 小テスト 前期 回、後期 3回	その他（レポートなど） 前期 回、中期 回、後期 回	
使用テキスト等	「ところからだのしくみ」メザカルフレンド社		

教育科目	福祉・社会Ⅰ（演習）	教育内容	新入生研修、学習発表会、総合体育、事業所関連
学 科 開講学年	[介護福祉士] 学科 1年	開講期	(前期) (後期)
		授業コマ数	19 コマ
		単位	1 単位
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・マナーの大切さを理解し、集団行動としての協調性を養う。 ・日頃の授業の成果を発揮し、今後の活動に活かすことができる。 ・総合体育を通じ、チームワークの大切さを知ることができる。 ・手話の概念、理論を知り、指文字や基本的な挨拶ができる。 		
授業概要	芸術鑑賞及び考察、発表会、総合体育、事業所関連		
成績評価基準	定期テスト 前期 後期 小テスト 前期 回、後期 回	その他（レポートなど） 前期 1回、後期 1回	
使用テキスト等	レポート等及び活動の取り組み評価により判定する。		

教育科目	初任者研修（演習）	教育内容	介護の理解Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
学 科 開講学年	[介護福祉士] 学科 1年	開講期	(後期)
		授業コマ数	87 コマ
		単位	8 単位
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.介護職とは利用者の尊厳のある暮らしを支え、自立支援、介護予防といった基本的視点に加え、法律に基づいて介護・福祉サービスを提供する専門職であることを理解する。 2.介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性及び職務におけるリスクとその対応策を理解する。 3.介護保険制度や障害者自立支援制度を中心に社会保障制度について、福祉サービスを必要とする方の生活を支えるための基本的なしくみを理解する。 <ol style="list-style-type: none"> 1.加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について理解する。 2.認知症を理解し、介護をする時の判断基準となる原因を理解する。 3.障害の概念とICF、障害者福祉の基本的な考え方を理解する。 <ol style="list-style-type: none"> 1.高齢者や障害者のコミュニケーション能力は、一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを取るということが専門職に求められていることを認識する。 2.チームケアにおける専門職間のコミュニケーションの重要性を理解する。 3.介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得する。また利用者の尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅、地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。 		
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1.求められる専門性や職業倫理に基づいて、利用者の尊厳のある暮らしをどのように支えるか、社会保障制度の観点から総合的に学習する。 2.加齢・老化に伴う心身の変化や疾病、認知症、障害を理解し個別性に応じた支援の仕方を学ぶ。 3.利用者とその家族とのコミュニケーションやチーム（職種内・多職種）のコミュニケーションの目的や役割とさまざまなコミュニケーションの技法を学ぶ。介護の基本的考え方やところからだのしくみの基礎を学び、自立に向けた介護の基礎と、生活場面において必要な介護技術を実践する。 		
成績評価基準	定期テスト 前期 (後期) 小テスト 前期 回、後期 3回	その他（レポートなど） 前期 回、後期 回	
使用テキスト等	「介護職員初任者研修テキスト第1巻」「介護職員初任者研修テキスト第2巻」中央法規		

教育科目	キャリア演習Ⅰ	教育内容	キャリア演習Ⅰ
学 科 開講学年	[介護福祉士] 学科 1年	開講期	(前期) (後期)
		授業コマ数	14 コマ
		単位	1 単位
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.履歴書の書き方（自己分析・企業分析含む）理解 2.就職活動に必要な知識・マナーの習得 3.採用試験に向けたSPI・面接スキルアップ 4.主食活動早期取り組みへの意識づけ 		
授業概要	履歴書指導により自己分析を行い、合同企業・法人ガイダンスにより企業分析および就職活動への意識を向ける。またガイダンスに向けた身だしなみ、メイク講座、就活式にて就職活動に必要な基礎知識を身につける。		
成績評価基準	定期テスト 前期 後期 小テスト 前期 回、後期 回	その他（提出物、報告書等） 前期 1回、後期 1回	
使用テキスト等	提出物、報告書等及び取り組み状況により判定。 自主作成プリント等		

教育科目	実践ボランティア ※自由選択科目	教育内容	実践ボランティア
学 科 開講学年	[介護福祉士] 学科 1年	開講期	(前期) (後期)
		授業コマ数	12 コマ
		単位	1 単位
授業目標	ボランティアを通して、社会や地域のもつ教育力を有効に活用し、奉仕の精神とコミュニケーション能力、主体性を兼ね備えた人材の育成を図り、社会人としての心構えを育てる。		
授業概要	事前指導・事後指導に参加する。(1コマ) 地域社会や企業・施設等でボランティア活動を行う。(11コマ)		
成績評価基準	定期テスト 前期 後期 小テスト 前期 回、後期 回	その他（報告書等） 実施後 1回	
使用テキスト等	報告書、ボランティア実施先の参加証明、事後指導の提出物により判定。		

教育科目	生活文化（演習）	教育内容	生活文化（演習）
学 科 開講学年	[介護福祉士] 学科 2年	開講期	前期 (後期)
		授業コマ数	14 コマ
		単位	1 単位
授業目標	私たちの暮らしは年代や日本各地の地域性・その人の習慣によっても違いがある。また、一人一人の価値観の違いを知り、高齢者の時代の多様な生活や文化を学ぶ。更に、家族・福祉、衣食住、消費生活等に関する基本的な知識と技術を習得する。		
授業概要	高齢者の家族間、家族構成、衣食住、消費生活の中の文化的、社会的、歴史的变化ではどのような生活文化であるか学習する。高齢者等、消費者を守る為の知識を習得する。		
成績評価基準	定期テスト 前期 (後期) 小テスト 前期 回、後期 2回	その他（レポートなど） 前期 回、後期 回	
使用テキスト等	教員作成資料		

教育科目	地域福祉(演習)	教育内容	地域福祉(演習)
学 科 開講学年	[介護福祉士] 学科 2年	開講期	前期・(後期)
		授業コマ数	30 コマ
		単位	3 単位
授業目標	市民の参加やネットワーク形成、ボランティアなど地域の課題解決に必要な知識や技術を習得し、地域づくりに実践的に貢献できる学習を目的とする。		
授業概要	地域に求められているものを踏まえ、個を支える地域をつくる視点、よい関係づくりの方法や良い雰囲気づくりの方法、また、一人ひとりの意欲の強化が行える支援ができる力を身につける。		
成績評価基準	定期テスト 前期 (後期) 小テスト 前期 回、後期 3回	その他（レポートなど） 前期 回、後期 回	
使用テキスト等	「地域福祉の理論と実践」建昌社		

教育科目	介護福祉論Ⅱ（講義）	教育内容	介護福祉論Ⅱ（講義）
学 科 開講学年	[介護福祉士] 学科 2年	開講期	(前期) (後期)
		授業コマ数	45 コマ
		単位	6 単位
授業目標	尊厳の保持や自立支援について理解を深め、利用者が主体的に生きることを可能にする支援を学ぶとともに他者に共感し、相手の立場に立つて考えられる姿勢を身につける。また、介護福祉士として、他職種との連携や協働・ケアマネジメントなどをふまえて介護を展開できる能力を養う。		
授業概要	専門職としての基本的な考え方や姿勢となる尊厳の保持や自立支援について学び、介護を必要とする人の生活を支える意義の理解を深め、実践することを学ぶ。また、事例を通してケアプランやケアマネジメントの流れ、しくみを学ぶとともに他職種との連携を学ぶ。		
成績評価基準	定期テスト 前期 (後期) 小テスト 前期 1回、後期 2回	その他（レポートなど） 前期 回、後期 回	
使用テキスト等	『介護の基本Ⅱ』中央法規出版		

教育科目	介護コミュニケーション技術Ⅱ (演習)	教育内容	介護コミュニケーション技術Ⅱ(演習)
学 科	[介護福祉士]	開講期	前期・後期
開講学年	学科 2年	授業コマ数	15 コマ
		単 位	1 単位
授業目標	介護を必要とする人の疾病や障害の状態、それによって起こるコミュニケーション障害を理解し、特性に応じたコミュニケーション方法を事例を取り上げながら学ぶ。		
授業概要	コミュニケーション障害の状態や原因について理解し、利用者の特性に応じたコミュニケーション方法を習得する。また、利用者やその家族、多職種協働におけるチームのコミュニケーション能力を身につけるために必要な知識と方法を学ぶ。		
成績評価基準	定期テスト	前期	後期
	小テスト	前期 回、後期 回	
	評定方法	小テスト、定期テスト	
使用テキスト等	「コミュニケーション技術」中央法規		

教育科目	生活支援技術Ⅱ調理(演習)	教育内容	生活支援技術Ⅱ調理(演習)
学 科	[介護福祉士]	開講期	前期・後期
開講学年	学科 2年	授業コマ数	20 コマ
		単 位	2 単位
授業目標	食文化や食生活の変化をはじめ、介護福祉士が食の支援をするうえで必要な知識・技術を養う。		
授業概要	調理の基礎、食品の調理を学び、調理の知識・技術を習得することや、栄養のバランスが整った衛生的でおいしい食事の提供ができるように学習する。また、疾病に合わせた調理や食事形態に合わせた料理が適切に提供できるよう学習する。		
成績評価基準	定期テスト	前期	後期
	小テスト	前期 2回、後期 1回	
	評定方法	小テスト、定期テスト	
使用テキスト等	「生活支援技術Ⅰ」中央法規		

教育科目	生活支援技術Ⅳ応用介護技術 (演習)	教育内容	生活支援技術Ⅳ応用介護技術(演習)
学 科	[介護福祉士]	開講期	前期・後期
開講学年	学科 2年	授業コマ数	50 コマ
		単 位	5 単位
授業目標	生活支援に関する基礎的な知識や技術を習得し、利用者の心身状態のレベルを理解し、個性を重視し潜在能力を引き出すことができるよう、自立に向けた援助とその根拠を明確にしながら学習することを目的とする。		
授業概要	さまざまな生活支援援助の基礎知識や技術を学び、利用者の心身状況に応じ、根拠ある援助を実践する力を身につける。		
成績評価基準	定期テスト	前期	後期
	小テスト	前期 2回、後期 2回	
	評定方法	実技試験、定期テスト	
使用テキスト等	「生活支援技術Ⅱ」中央法規 「生活支援技術Ⅲ」中央法規		

教育科目	介護過程演習Ⅱ(演習)	教育内容	介護過程演習Ⅱ(演習)
学 科	[介護福祉士]	開講期	前期・後期
開講学年	学科 2年	授業コマ数	30 コマ
		単 位	3 単位
授業目標	介護過程の意義や展開の思考過程の学習を基礎とし、実際の生活場面での利用者の状況に応じた適切な介護の提供が出来るよう、他の授業で学んだ知識・技術を統合し、介護過程を展開、介護計画の作成ができることを目的とする。		
授業概要	さまざまな利用者の障害や心身の状況に応じた事例を用い、利用者の支援における介護の実践的展開を理解するために、介護過程を学ぶ。		
成績評価基準	定期テスト	前期	後期
	小テスト	前期 1回、後期 1回	
	評定方法	事例紹介・介護計画表、定期テスト	
使用テキスト等	「介護過程」中央法規		

教育科目	介護総合演習Ⅱ(演習)	教育内容	介護総合演習Ⅱ(演習)
学 科	[介護福祉士]	開講期	前期・後期
開講学年	学科 2年	授業コマ数	30 コマ
		単 位	3 単位
授業目標	介護福祉士として必要な知識や技術を習得し、さらに質の高い対人援助サービスを提供できることを目的とする。		
授業概要	・介護計画を立案、展開、実施することで、介護過程の一連の流れを学ぶ。 ・チームの一員として介護業務の理解を深める。		
成績評価基準	定期テスト	前期	後期
	小テスト	前期 2回、後期 1回	
	評定方法	実習簿、課題、小テスト、定期テスト	
使用テキスト等	「介護総合演習・介護実習」中央法規		

教育科目	介護実習Ⅱ(20日)	教育内容	介護実習Ⅱ(20日)
学 科	[介護福祉士]	開講期	前期・後期
開講学年	学科 2年	授業コマ数	80 コマ
		単 位	4 単位
授業目標	介護福祉士として必要な知識や技術を習得し、さらに質の高い対人援助サービスを提供できることを目的とする。		
授業概要	・介護計画を立案、展開、実施することで、介護過程の一連の流れを学ぶ。 ・チームの一員として介護業務の理解を深める。		
成績評価基準	定期テスト	前期	後期
	小テスト	前期 回、後期 回	
	評定方法	各実習先指導者評価・巡回教員評価	
使用テキスト等			

教育科目	発達と老化の理解(講義)	教育内容	発達と老化の理解(講義)
学 科	[介護福祉士]	開講期	前期・後期
開講学年	学科 2年	授業コマ数	30 コマ
		単 位	4 単位
授業目標	発達の観点からの老化を理解し、老化に関する心理や身体機能の変化に対応できるよう学習する。		
授業概要	人間の成長と発達について理解し、老化についての考え方や老化説について学ぶ。また、ライフサイクルの中の老年期とはどのような時期か理解し、どのような心理状態になっているかを学ぶ。		
成績評価基準	定期テスト	前期	後期
	小テスト	前期 2回、後期 2回	
	評定方法	小テスト、定期試験	
使用テキスト等	『発達と老化の理解』メヂカルフレンド社		

教育科目	認知症の理解(講義)	教育内容	認知症の理解(講義)
学 科	[介護福祉士]	開講期	前期・後期
開講学年	学科 2年	授業コマ数	15 コマ
		単 位	2 単位
授業目標	認知症に関する基礎的知識を習得するとともに、認知症のある人の体験や意思表示が困難な特性を理解し本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得する。		
授業概要	認知症の症状に合った対応方法が理解できる。		
成績評価基準	定期テスト	前期	後期
	小テスト	前期 3回、後期 回	
	評定方法	小テスト、定期テスト	
使用テキスト等	『認知症の理解と介護』メヂカルフレンド社		

教育科目	障害の理解Ⅱ（講義）			教育内容	障害の理解Ⅱ（講義）			
学 科 開講学年	[介護福祉士] 学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単 位	2 単 位	
授業目標	障害のある人の心理や身体機能に関する基礎的知識を習得するとともに障害のある人の体験を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得する学習を目的とする。							
授業概要	障害の種類と特徴、心身と生活への影響を正しく理解する。障害のある人をサポートする社会資源の活用方法を習得する。関係する福祉職、保健、医療職とのチームアプローチの意義を理解する。家族をサポートする社会資源を知り、支援技術を習得する。							
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど）				
	小テスト			前期 回、後期 回				
	前期 3回、後期 回							
評定方法 小テスト、定期テスト								
使用テキスト等	『障害の理解』 メヂカルフレンド社							

教育科目	こころとからだのしくみⅣ（講義）			教育内容	こころとからだのしくみⅣ（講義）			
学 科 開講学年	[介護福祉士] 学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単 位	2 単 位	
授業目標	介護技術の根拠となる人体の構造や機能及び介護サービスの提供における安全への留意点や心理的側面への配慮について理解する学習とする。							
授業概要	こころとからだの構造・機能を十分に理解し、利用者の可能性を見出し、人間としての尊厳と自立の守られたそ人らしい生活支援について学習する。							
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど）				
	小テスト			前期 回、後期 回				
	前期 3回、後期 回							
評定方法 小テスト、定期テスト								
使用テキスト等	「こころとからだのしくみ」メヂカルフレンド社							

教育科目	医療的ケア（講義）			教育内容	医療的ケア（講義）			
学 科 開講学年	[介護福祉士] 学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	34 コマ	単 位	3 単 位	
授業目標	医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を習得する。							
授業概要	介護福祉士が喀痰吸引・経管栄養の医行為の一部を業として行うことができるようになった背景等、医療的ケアを安全に実施するための基礎知識を学ぶ。また、喀痰吸引・経管栄養の実施手順、留意点、救急時の対応方法などについて学習する。							
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど）				
	小テスト			前期 回、後期 回				
	前期 2回、後期 回							
評定方法 小テスト、定期テスト								
使用テキスト等	『医療的ケア』 メヂカルフレンド社							

教育科目	医療的ケア演習（演習）			教育内容	医療的ケア演習（演習）			
学 科 開講学年	[介護福祉士] 学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	20 コマ	単 位	1 単 位	
授業目標	医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を習得する。							
授業概要	医療的ケアを安全に実施することができるよう、喀痰吸引・経管栄養の実施、救急時の対応方法などについて学習する。							
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど）				
	小テスト			前期 1回、後期 1回				
	前期 回、後期 回							
評定方法 小テスト、定期テスト 実技試験、定期テスト								
使用テキスト等	『医療的ケア』 メヂカルフレンド社							

教育科目	アロマ（演習）			教育内容	アロマ（演習）			
学 科 開講学年	[介護福祉士] 学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	10 コマ	単 位	1 単 位	
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> 介護現場で役立つアロマセラピーの知識や効果を学び、習得する。 高齢者及び認知症高齢者の方がリラックスし、情緒の安定を図れるよう、安全で効果的な活用方法を身につける。 アロマセラピーを通し、コミュニケーション技術を身につける。 							
授業概要	アロマセラピーの知識と基本的技術を学ぶ。							
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど）				
	小テスト			前期 回、後期 回				
	前期 回、後期 2回							
評定方法 小テスト、定期テスト								
使用テキスト等	「Simple Aroma かおりのテキスト」大阪教育図書							

教育科目	音楽♪			教育内容	音楽♪			
学 科 開講学年	[介護福祉士] 学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	10 コマ	単 位	1 単 位	
授業目標	高齢者の音楽活動にふさわしい楽曲を選択し、自らの発想と展開で活動計画を立案する能力を習得する。歌唱力を身につける。							
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> 音楽に合わせて体操、トーンチャイム・打楽器（カスタネット、タンバリン他）でリズム活動、歌唱活動 活動における目標の設定、導入・主となる活動・締めくくりに合わせた音楽活動の立案方法を実践的に経験し、活動案(プログラムシート)の作成方法を学習する。 							
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど）				
	小テスト			前期 回、後期 1回				
	前期 回、後期 2回							
評定方法 授業内実技試験実施 小テスト 課題								
使用テキスト等	『高齢者 10000人が選んだうたい歌 心にしみる懐かしい歌・四季の歌』(2013) 大石重由美 編著 (株)いまだ社 『高齢者ふれあいレクリエーションブック① 高齢者のための音楽療法的音楽活動入門』(2011) 北澤政和 監修 北村英子 著 ひかりのくに							

教育科目	ケア・コミュニケーション（講義）			教育内容	ケア・コミュニケーション（講義）			
学 科 開講学年	[介護福祉士] 学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	20 コマ	単 位	2 単 位	
授業目標	実践的・専門的なコミュニケーション技術を習得するとともに、信頼関係の大切さを学ぶ。ケア・コミュニケーション検定の習得を目指す。							
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> 検定のテキストを中心に進めていく。利用者とのコミュニケーション、チームワークのコミュニケーションなど実践的な技術を学ぶ。 試験対策として過去問題を解いていく。 							
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど）				
	小テスト			前期 回、後期 回				
	前期 回、後期 3回							
評定方法 小テスト、定期テスト								
使用テキスト等	「ケア・コミュニケーション」ウイネット							

教育科目	エクセル（演習）			教育内容	エクセル（演習）			
学 科 開講学年	[介護福祉士] 学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	10 コマ	単 位	1 単 位	
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> パソコンの基本的な操作方法を理解し、実践できる。 Excelの基本操作を理解し、表やグラフの作成ができる。 							
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> 基本的なパソコン操作から学び、Excelの基本操作を学ぶことでパソコン操作に慣れることができる。 社会人として必要なデータ処理技術を習得することができる。 							
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど）				
	小テスト			前期 回、後期 1回				
	前期 回、後期 1回							
評定方法 実技試験、定期テスト								
使用テキスト等	30時間でマスター Word&Excel2013 (Windows8 対応)							

教育科目	国家試験対策			教育内容	国家試験対策			
学 科	[介護福祉士]	開講期	前期・後期	授業コマ数	69 コマ	単位	7 単位	
開講学年	学科 2年							
授業目標	国家試験での合格基準を満たすことができるよう、総合的に学習する。							
授業概要	介護福祉士国家試験 過去問題等を繰り返し行い、実力をつけることができる。							
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど）				
	小テスト 前期 4回、後期 7回			前期 回、後期 回				
	評定方法 小テスト、実力テスト							
使用テキスト等	「介護福祉士国家試験模擬問題集 2019」中央法規							

教育科目	福祉・社会Ⅱ（演習）			教育内容	地域研究、学習発表会Ⅱ、総合体育、事業所関連			
学 科	[介護福祉士]	開講期	前期・後期	授業コマ数	21 コマ	単位	3 単位	
開講学年	学科 2年							
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> マナーの大切さを理解し、集団行動としての協調性を養う。 日頃の授業の成果を発揮し、今後の活動に活かすことができる。 総合体育を通じ、チームワークの大切さを知ることができる。 							
授業概要	芸術鑑賞及び考察、発表会、総合体育、事業所関連							
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど）				
	小テスト 前期 回、後期 回			前期 3回、後期 4回				
	評定方法 レポート等及び活動の取り組み評価により判定する。							
使用テキスト等								

教育科目	キャリア演習Ⅱ			教育内容	キャリア演習Ⅱ			
学 科	[介護福祉士]	開講期	前期・後期	授業コマ数	12 コマ	単位	1 単位	
開講学年	学科 2年							
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 就職活動を円滑に行う力を養う。 マナーの大切さを理解し、社会人としての基本的マナーを身に付ける。 							
授業概要	社会人講話や就職活動を通して、社会人に必要な基礎知識や仕事に対する取り組み姿勢について学ぶ。							
成績評価基準	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど）				
	小テスト 前期 回、後期 回			前期 1回、後期 1回				
	評定方法 レポートなどの提出物及び取り組み状況により判定。							
使用テキスト等	自主作成プリント等							